

2019.10.3(木)
クラブ協議会

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知ってより大きい輪をつくらう！」

第83代会長 天方 智順
副会長 後藤 公貴
幹事 松井 聖治
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2019-2020 年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020 年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー

第 2500 地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

ガバナー公式訪問 クラブ協議会

会長挨拶 天方 智順会長

皆さま、こんにちは。
吉田ガバナー、よくぞいらっしゃってくださいました。
お待ち申し上げておりました。



先ほど、会長・幹事会でしっかりとお話をさせていただきました。皆さん、ご存じのとおりすぐやかにくいお二人かもしれません。ガバナーはガバナーで役

目があります。私もクラブ会長として役目がありますからこの設えの中では、きっちりやっつけていこうと思っています。

挨拶 吉田 潤司ガバナー



皆さん、こんにちは。公式訪問では多くの方に本当にお世話になってどうもありがとうございました。私も回りまして65クラブ目くらいから突然、調子が悪

くなりまして大変ひどい風邪を引きましたが、無事に66までは終わりました。

今日はこの釧路クラブに来まして、自分のクラブはすごく緊張しますね。活動計画書を見させてもらったのですが、突つつく所がないのですよ。これも大変なのです。そういう意味では非常に緊張してどんなふうになるか分からないのですが、何とか頑張っていきます。

私は今日、釧路クラブの吉田ではなくて、ガバナーの吉田として来ましたので、マローニー会長の考え方をきちっと伝えないといけない。そういう意味では、皆さま方に失礼なことを言うかもしれません。これは

私の役が言わせたということでお許しいただきたいと思えます。

私も 2500 地区を何とか回りましたけれど、やはり釧路クラブが 2500 地区の中では完成したクラブだと私は思いました。すべての面でよくできていると思います。

ただ、上には上があります。私は他の地区のクラブは見たことがないですし、いわゆる巨大クラブは見たことないですけど、少しでもそれに近づけるように、私たちも頑張っていきたいと思うし、私はマローニーさんの考えを含めて、皆さまにいろいろとお話をさせてもらいたいと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

挨拶 加納 則好 第7分区ガバナー補佐



皆さま、こんにちは。よろしく願いいたします。今日は先ほど会長・幹事会が終わりまして、これからクラブ協議会、そして例会と長時間、皆さまにお世

話になります。よろしく願いいたします。

ただいま、ガバナーもお話されておりましたが67箇所目、ようやくホームグラウンド、ホームクラブに帰ってまいりました。先週からこの分区の公式訪問ではご一緒させていただいていますが、さすがにお疲れが出たのか、先週の2クラブ、3クラブは本当に大変な体調の中で無事に公式訪問を終わらせていただきました。本当にお疲れさまでございます。

釧路クラブ様におかれましては、来週、いよいよ本番の地区大会ということで、おそらく公式訪問どころではないかもしれません。お付き合いをよろしくお願いいたします。

天方 智順 会長



それでは、私の方針を述べたいと思います。簡素に3つの柱だけを。

スローガンにありますが「コネクト」というのはマローニー会長のおっしゃ

る「つながる」という意味のコネクトです。次の「ロータリーを良く知って」は吉田ガバナーがおっしゃる「知らずして語らず！」の「知らずして」をかける言葉でして、積極的にロータリーに参加してより多くのことを知ろうという意味で、この文言を入れさせていただきました。そして「大きな輪」、これは会員拡大のことです。先ほどの会長・幹事会のなかでもありましたが、もっと大きな輪を作らなければいけないと改めて思った次第です。

一読はしませんが、吉田ガバナーは一読されていることと思いますので、私からは以上とさせていただきます。

(各委員会からの発表は事業計画書をご参照下さい)

Return
to
PDF

天方 智順会長

皆さん、ありがとうございます。一通り、ご説明が終わりました。吉田潤司ガバナーからご講評をお願いしたいと思います。

ご講評 吉田 潤司 ガバナー



何もありませんと言って止めるわけにはいけないので、頑張ってみます。

本当にうちのクラブはやりにくいですね。多くのクラブを回りました時に、どこも最盛時の会員から見て6割ぐらいのクラブが多い

のです。そのくらい会員増強はみんな悩んでいましたから、そこについてはかなりの話ができたのです。うちのクラブはそういう点も十分にできていますし、やはり活動計画書も歴史と伝統がありますから、よくできていると思いました。

でも、それで終わるわけにはいけないものですから、私は会長基本方針で天方会長にも、先ほどの会長・幹事会でも、少しお話したのですが、2500地区を回っ

てきて、やっぱりうちのクラブがどうみてもリーダークラブなのですね。2500地区の中で7分区分は私も含めてガバナーの数が多い。そういう意味ではいろいろな意味でリーダーとしての面もあります。それから、会員数も最盛時から見てほとんど変化していない。でも、他の地区を見ますと旭川クラブでも120名が最盛時にいたというのが、今は70名を切るぐらいの状況。帯広も似たようなもので、そういう意味からしますと、やっぱり2500地区に元気をつけるためには、うちのクラブの立ち位置を相当考えていかないとけないと思うのです。



そういう意味で天方会長にお願いをしたのですが、2500地区の中の釧路クラブということ強く意識してほしいと。釧路クラブの会長ということではなくて、2500地区のリーダークラブの会長という意識をもって、殻に閉じこもらずにどうしたらうちのクラブが活性化するか、2500地区が活性化するか、を考えていただきたい。アバウトな言い方なのですが、そういうお願いをしました。

あとは各委員会の活動です。出席委員会で出席率を調べてみますと7分区分では一番良いのです。よくできていまして一生懸命出席しています。90%を超えているクラブはたくさんあるのですが、うちのクラブは90%を超えていないものですから、ぜひ出席率を高めてもらいたいのがひとつ。新入会員が入りますと必ず研修委員会で研修しますが、「ロータリアンの義務は出席です」と話をしといて、いざ新人がクラブに来たら「何だ、出席率良くないじゃないか」という話になりますので、これは皆さん忙しいからクラブの出席ができなくても、釧路市内にはたくさんさんのクラブがあって、Eクラブのメイクアップも簡単にできます。Eクラブのホームページ開き、500円でメイクアップできます。ぜひメイクアップで高めていただきたいと思います。出席委員会で休みがちの人、休んでいる人について、折りに触れて出てくれるように柔らかくお話をしてもらいたいと思います。

メイクアップの起点が変わったということご存じだと思います。今までは2週間に1回しかメイクアップ使えなかったのですが、これからは1年に最後の月、6月に全部を使うことができるようになりました。極端



な場合は5月まで休んでいても、6月いっぱいでもアップを山ほどやると100%出席になれるのです。RIは何でこんな方法考えたかよく分からないです



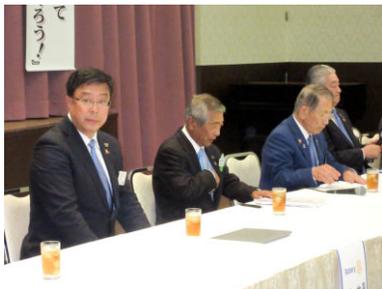
が、そういう方法になりました。

これに「地区として方針をどうするのですか」という質問がありました。クラブの自主性がありますから、クラブで今

までと同じように2週間に1回の制度にするとか、今回から改めて1カ月で補填する制度とかありますけど、地区では方針は決めておりません。釧路クラブもいろいろな方法とりながら2～3年のうちにどれかひとつの方法を取るようにして定款細則の中に、うちのクラブはこう決めましたと書いておくのがいい、と前回の諮問委員会で出た話であります。

それから会報委員会です。先ほど清水委員長が「更新がすごく早くなった」と言いました。これはすごく大事なことなのです。他のクラブのホームページを見ても更新していない所もたくさんあります。これは、更新しないと誰も見なくなってしまいます。更新は間違なくするようにお願いしたいと思います。

それから、『ロータリーの友』です。これ、たぶん雑誌委員会の委員長には早めに『友』が届いていると



思いますので、雑誌委員会は月に1回でも読んでもらいたい記事の1点か2点を必ず紹介するよう、みんなに話をしてもらいたいと思います。私の「知らずで

語らず！」ではないですが、ロータリーを知るためには『友』も大きなリソースになりますので、ぜひお願いしたいと思います。

続きまして、会員増強・会員選考・職業分類委員会につきましてお話をさせていただきます。私を感じたのですが、うちのクラブって100をいつも目標にしていますが、うちのクラブって100をいつも目標にしている感じが少しあるのですけども。やっぱりクラブはいつも拡大していなきゃ駄目なのですね。私は国際協議会で研修を受けたときも、日本で会員増強の研修を受けたので、うちのクラブに当てはまるかどうか分かりませんが、よく小さいクラブで「今年、増強を1名か2名したい」と書いているクラブありました。セミナーで受けた時は「小さい目標を立てちゃ駄目ですよ。大きな目標を立ててください。小さい目標を立てると、誰かがやってくれる、となって誰も会員増強を一生懸命やらない」という話な

のです。

天方会長と話したとき、「100名ではなく、もう少し大きい目標を立てよう。釧路クラブは以前、117名いた時代があったのです。117名ではないけど110名くらいを目指そう」と。ひとつの方針としてみんなで考えていただきたいと思います。



なぜ、増強、増強と言うか。2500地区で新クラブができたのはEクラブができて5年くらい。その前は20年前にベイクラブができただけなのです。2500地区を回ってみて、新クラブを作る体力があるクラブはそうないと思います。うちのクラブはやっぱり新クラブを作る方向をぜひ考えていただきたいと思うのです。それは、ガバナーの一番大きな仕事は「新クラブを作れ」と言われています。これは研修受けたら必ず言われます。私のクラブでも、あと5年か10年の間にはガバナーは出ると思うのです。そのガバナーが出るときに、うちのクラブが130名、140名、150名になると、そこから分割すると新クラブができやすくなるのです。会員増強の目標は、もう少し大きな目標を持ってやっていただきたいと思います。

会員のなかの一部は「うちのクラブばかりそんなに大きくなってどうするのだ。そろそろセーブすべきじゃないか」と言うのです。これは、絶対間違いなのです。「クラブが勝手に増強を制限してはならない」と定款に書いていますから、絶えず増強することを考えていただきたいと思います。



天方会長がこれから例会の時に機会があれば「目標は

110名に」の話をするので、みんなで増強を考えていただきたいと思います。

職業分類委員会の中で、マローニー会長は「会員増強で職業分類表を使いなさい」と言っているのです。でも、ほとんどのクラブが職業分類表の使い方を間違っているのです。これは「分類表を8月31日まで整理したものを出しなさい」と決まっているのです。それで、分類表はすべての職業を網羅していて、その中で「自分のクラブの未重点の会員のところに候補者をいれなさい。自分の街の調査をしなさい」と書いているのです。

分類表は51ページに出ています。この分類表作りで、例えば食品関係は浅川さん、酒類は五明さんと、

これででき上がったのが分類表の完成品ではないのですよ。この横の空いているところに候補者を入れて完成品なのです。

街を調査して例えば、「青果販売、誰か候補者いなか」をみんなで考えて、候補者を埋めていくのが分類表の作り方なのです。その分類表を作って未重点の候補者を入れて、会員候補者の在庫をたくさん持って増強しなさいということが一番の考え方なのです。あるクラブに行きましたら、Aさんは何の仕事、と会員の職業を分類した表を作っているクラブがありました。これは大間違いです。分類表は未重点のところ候補者を入れて会員増強の手助けにしなさいというのが一番の考え方なのです。ですから、うちのクラブでは未重点のところに入っていないのは間違いなのです。

それから、クラブ研修委員会。これは今年から研修委員会になりましたけど、マローニーさんは、「退会する会員が多いのは不十分な知識を持っているから。ロータリーが分からないから、つまらないから退会した」と言っていました。「新入会員の時の研修を一生懸命やりなさい」と書いていました。うちのクラブもきちっとやっています。必ずうちのクラブのマニュアルを充実して、研修委員が変わってきますが、同じことをやっていかないと。「去年の人は30分で終わった。



今年は何で1時間やるの」となったら、これは研修の意味なくなってしまうのです。研修はきちっとマニュアルを作ってやるのがすごく大事だと思います。

続きまして、社会奉仕委員会です。社会奉仕の事業にはいろいろな事業がありますが、「社会奉仕事業の指針」がありまして、「ロータリーは、お金と人は限りがある。身の丈にあった仕事をしなさい」と書いているのです。ですから、いろんな事業をやっている中で、事業の中身ではなくて絶えず精査して、この事業が身の丈に合っているのか、初期の目的を達成しているのか、クラブに負担がかかっていないかを検証して、「大きくなった事業をよそに譲りなさい」とか書いてあります。絶えず、これを見て検証してもらいたいのです。

クラブを回りますと、「事業やっていると、だんだん大きくなってお金がかかって、クラブの会計を圧迫

するようになり、値上げせざるを得なかった」という「負の連鎖」の所がたくさんあるので、これは、ロータリーは奉仕事業をやるための団体ではないといつも考えていかないといけないのです。

続きまして、職業奉仕委員会。職業奉仕という言葉はなくなったわけじゃなくて、社会奉仕の中に職業奉仕が入ったのです。欧米人は、職業奉仕という感覚がなくて、どうしても財団に行っていますが、職業奉仕は社会奉仕の中で5大奉仕、4大奉仕の中には生きていますので、今までと同じように使ってもらえれば良いと思います。

青少年奉仕委員会。今年のこれからの一番の大きな問題点はこの青少年奉仕委員会になると思います。国際ロータリーの中の構成員は今までロータリーだけだったのです。今度はローターアクトが構成員になってしまいました。まだ会員数にはカウントされていないのです。カウントは陣頭分担金を払えばカウントされるのですが、まだいつから取るか決まっていないのです。ここにも大きな問題なのですがその前に、「来年度からローターアクトの委員長をP E T Sに参加させなさい」となったのです。そうするとこの費用をどうするかという問題。主幹クラブが負担することになるのか。今年、1名ですけれど来年は四大委員会があると四大委員長が出なければならぬ。5名の負担になると主幹クラブが大変になるのではないかがあって、これから目を離せない問題だなど。人頭分担金をいつの時からか取るようになると、ローターアクトが人頭分担金を払って、ロータリアンになるかどうかもうやっかいな問題で、それもまた主幹クラブが払えとなると二重にお金がかかってきますから、これも結構大きな問題になってくると思います。

いずれにしても、来年の松田年度のP E T Sの時には、ローターアクトの委員長が参加することになりました。

ライラセミナーについてです。私は、旭川でライラセミナーを見てきましたけれど、ライラセミナーの若者はたいしたものだと思います。見ず知らずの人たちが集まり、突然グループ分けにされて、テーマが発表になって、みんなで意見を言い合って次の日の結論を出す。今年は「地域活性化について」をみんなが



どうしているか話しました。夜 10 時からまでやっているのですよ。それが終わって、ホテルにチェックインして、またグループでみんなで話し合っ、とやっています。大変ハードで、昔は 2 泊 3



日です。国際協議会では今年からローターアクトも私たちが 10 人くらいずつガバナーの研修を受けるところに 1 名か 2 名のローターアクトが入ってきて、一緒に研修を受けるのです。その時にローターアクトはわれわれと同じテーマをきちっと論理的に説明し、自分の考えを述べ、反論をしてやっています。日本の若者はすごいなと思いました。休憩の時に聞いたら、「知らない人たちと一緒に話をするのはライラで経験した」ということが多かったです。私は、青少年の事業はなかなか良い事業をやっていると改めて分かりました。ぜひ、応援をしたいと思っています。

ローターアクトは 30 歳が定年ですから、だいたい毎年会員増強について、会員が苦労しているのです。これはローターアクト自身で会員を増やすことは、難しいですね。ですから、このロータリークラブが応援しなきゃ駄目だと思います。釧路クラブでも、これは北



クラブの事業だからじゃなくて、機会があればぜひローターアクトに参加させるようにしてください。帯広はこれが一番しっかりしています、会員数は帯広が一番多いのです。圧倒的に 2500 地区では多いです。やっぱり横の連携が取れていて、よくできているなと思いました。

あとはそんなになくて、米山奨学会もありません。嵯峨記念育英会もありません。

S A A は大事な委員会で、先ほど西村 S A A 委員長が言いました「品格」は大事なのです。クラブで例会をきちっと品格のあるものにするのは S A A の役割ですから、遠慮しないで行儀悪い人には注意してもらいたいですね。例会でバッチをしてこない会員がもしいましたら、私たちは背広ですから忘れてくることあるのですが、忘れてきた人に対してバッチを売るなりニコニコでペナルティー 1,000 円くらい払ってもらうか、何かしないとバッチをしないで例会に来る確信犯だとしたら、ご飯食べるだけの会員になってしまいま

すよね。S A A は S A A としての品格を持ってやっていただきたいと思います。

あと、会計の中身、私は言わないですが、会計というのは会費を絶えず下げる努力をしないといけない。新しい人が入ってくる時には大変になります。上げることは簡単なのですが、下げるのは大変です。どこに無駄があるのか、どこの使い方が間違っているのか。もっと良い方法ないのかを絶えず考えて会費を下げるような努力をしていただきたいと思います。いずれにしても、よくできておまして、大変立派だと思いました。何も言うことはありません。

クラブ協議会、こんなに人がいるクラブ協議会はないのですよ。これ多分、ガバナーが入って来たら相当足がすくむと思います。私でさえ、知っている人がいましたけれど、何を喋ろうかなと緊張しましたが、大変です。



あとは他のクラブを回りました時に、やっぱりキャッスルさんの食事は圧倒的に素晴らしいと思いました。食事をする楽しみはすごくありました。毎日、弁当ばかり食べていますと嫌になっちゃいましたね。旭川に西村君と濱谷君と行きました時に、昼に抜け出してラーメンを食べに行こうとしたら、向こうの幹事が一生懸命「ここに座ってください」と。結局、その弁当を食べました。あの時は 5 泊か 6 泊しましたが毎日弁当を食べておまして、さすがに嫌な思いをしました。うちのクラブは美味しくよくできていると思いました。そういう意味では感謝をしたいと思えます。

いずれにしてもリーダークラブであるという自覚を持っていきたいと思っています。他のクラブ、地区も 100 になりたいとみんな言っていました。旭川も帯広も北見も言っていました。網走も「できればなりたけれど、まだ無理だ」と言っていました。やっぱり分区分のメジャークラブ、中心クラブは 100 がひとつの形だと思うのです。東京や京都、大阪というのは 300、400 という会員がいますので、うちももっと大きくなっていいと思います。何とか会員を今年度は 110 名になるようにしていただいて、リーダークラブで行きたいなと思っています。

以上でございます。

天方 智順会長

吉田ガバナー、ありがとうございました。

せっかくの機会でご講評ということですが、何か皆さんからお聞きしたいことがありますかね。恐れ多いですよ。よろしければ、ないですか。

ないようでしたら、当初の予定にはないですが加納ガバナー補佐より少しご意見をいただきたいと思います。感想でもいいです。よろしくお願ひします。

います。

今日は本当にありがとうございました。

加納 則好ガバナー補佐

ただいま、吉田ガバナーがお話されたように恐れ多くも私ごときが釧路クラブさんのクラブ協議会でうんぬんということ、とても申し上げられる雰囲気ではございません。ましてや、日頃お世話になっている諸先輩の方がずらっといらっしゃる中で、本当に足がすくんでおります。

ただ、改めて思ひましたのは、やはり 2500 地区のリーダークラブという釧路クラブさんとわれわれ第 7 分区が一緒の分区だということに改めて、今日誇りに感じているところです。同じことを分区の 8 クラブの皆さんがそう思っていると思ひます。

前年度、P E T S 開催をされておひまして、私も予定者だったのですが、非常に印象に残っている素晴らしい P E T S を開催されました。年度が明けてからは、ガバナーからお話ありましたが 67 カ所回られて釧路クラブの皆さまもいろいろな事業、奉仕事業を抱えているなかで、全部同行されていることで、本当にこれは私たちには見えないですが本当に改めて、ご苦労されてきたのだなと感じておひます。

そして、来週いよいよ地区大会でございます。ホストクラブとしてここまで大変な準備をされてきておひます。間違いなく大成功に終わることをご祈念したいと思ひます。地区大会が終わってもまだ年度が終わりません。

改めて、天方会長そして松井幹事を中心として益々、クラブのご活躍をご祈念するところでございます。合わせまして、皆さま方のご健勝をご祈念申し上げまして、感想にもなっておりませんが私の話とさせていただきます。本当に今日はありがとうございました。

会長謝辞 天方 智順会長

改めまして謝辞を申し上げたいと思ひます。先ほど会長・幹事会でいろんな話をさせていただきました。7 月から会長を仰せつかりまして、もう 10 月ですからいいとこ馴れてきていると思ひている自分に、まだ早いよ、気を引き締めないといけないところがあるのでは、と気づきをいただきました。

そして、宿題もいっぱいいただきました。会員増強についてもそうです。改めて吉田ガバナーとお話しさせていただいて自分が持っている認識の小ささを認識したところでございます。いろんな宿題をいただきました。

先ほどお話をして、年度がもう走っていますので、これをやると言えませんが、種をまく、苗を植えるということを心がけて残りの会長任期を全うしたいと思

Return
to
Top

Return
to
Web Site